



令和5年 彦根市消防出初式



消防出初式は、消防に関わる人たちの、年頭にあたっての決意表明の催しです。彦根市消防職・団員総勢約490人と、消防車両36台、消防団バイク隊のバイク16台が出場します。

<内容>分列行進、車両行進、幼年消防クラブ員の防火演技、彦根鷹保存会はしご乗り演技、消防車両による一斉放水など

🕒 1月7日(土) 10:30～12:00

📍 彦根城大手前保存用地(金亀町)

📞 消防本部警防課

☎22-0337 FAX 22-9427

みんなで守ろう文化財 -1月26日は文化財防火デー-

奈良県の法隆寺で大修理が行われていた昭和24年1月26日の早朝に火災が発生し、金堂壁画の大部分が焼損しました。

この火災を契機に、「火災などの被害から文化財を守ろう」という世論が高まり、昭和30年に1月26日を「文化財防火デー」と定められて今年で69回目を迎えます。全国で貴重な国民的文化財産を火災・地震・その他の災害から守るため、文化財施設への立入検査や訓練などが行われます。

近年では、フランスのノートルダム大聖堂や沖縄県那覇市の首里城跡復元施設において

火災が発生し、貴重な文化遺産が相次いで失われました。

彦根市には、彦根城をはじめ多くの文化財が市内各地に残されています。長い歴史の中で先人たちが守ってきた貴重な文化財を火災等から守り、将来に継承するためにも、次の事項を守りましょう。

▶喫煙マナーをしっかりと守り、文化財の近くでのたき火など火災の原因となる行為は止めましょう。

▶放火対策として、文化財の周りに燃えやすい物を放置せず、整理整頓するようにしましょう。



1月1日(日・祝)～2月7日(火)

「彦根藩の年中行事」

江戸時代、彦根藩の殿様も家臣たちも、一年を通じて様々な行事を行っていました。威儀(いぎ)を正して臨む彦根城表御殿での儀礼から、雑煮を食べるというような社会的慣習まで、その様子をのぞいてみます。

■スライドトーク

【日時】1月7日(土)14:00～(30分程度)

【解説】当館学芸員 【場所】講堂

※当日受付(先着50人、受付は13:30～)

※無料(観覧料は別途必要)

▶黒漆塗襦袢紋時給膳柄類



「年中行事を比較する

一江戸幕府・彦根藩・彦根藩士家」

江戸幕府・彦根藩・彦根藩士家では、同じ名目の年中行事を行うにしても、その地位や規模の違いが反映されます。それぞれの行事内容の共通点や相違点をあぶり出します。

【日時】1月14日(土)14:00～15:30

【講師】当館学芸員 【場所】講堂

※資料代100円(観覧料は別途必要)

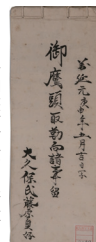
※当日受付(先着50人、受付は13:30～)

1月1日(日・祝)～2月7日(火)

「彦根藩大久保家文書」

井伊直弼と直憲の側役(そばやく)として仕えた彦根藩士、大久保孫左衛門家に伝わった古文書を展示します。同家の古文書は、藩主とその側近くの様子を知る上で欠かせないものです。この機会にご覧ください。

▶御鷹頭取動向諸事留



チケット情報

ひこね市文化プラザ

2月5日(日) 14:00 グランドホール

石田組ツアー 2022/2023 硬派弦楽アンサンブル

指定 【発売中】 S席5,500円、A席4,400円

学生(S席/A席)2,000円

小学生以上

託児あり(有料・要予約)

神奈川県フィルハーモニー管弦楽団 首席ソロ・コンサートマスターの「石田組長」石田泰尚が率いる男だけの精鋭アンサンブル。クラシックのみならず、ピアノや映画音楽、ロックと幅広くお楽しみいただけます。

プラザフェスティバル2023

2月4日(土) 15:00開演 バレエ部門 グランドホール
2月5日(日) 14:00開演 演劇部門 メッセホール
2月11日(土)14:00開演 舞踊部門 グランドホール
2月12日(日)14:00開演 クラシック部門 エコーホール
2月18日(土)14:00開演 チャレンジ部門 エコーホール
2月19日(日)14:00開演 邦舞・邦楽部門 エコーホール

【自由】1月7日(土)配布開始 入場無料(ただし入場整理券が必要)

4月28日(金) 19:00 エコーホール

【共催事業】第24回彦根エコーオーケストラ定期演奏会

【自由】1月21日(土)発売開始 一般3,000円、大学生以下1,500円

※当日券は各500円増

小学生以上

親子室の利用可

申込・お問い合わせ先 チケットセンター ☎27-5200 (9:00～19:00)

チケットはインターネットでもご購入いただけます。<https://bunpla.jp/>

1月の休館日: 1日(日・祝)～3日(火)、10日(火)、16日(月)、23日(月)、30日(月)

【ひこね市文化プラザ各公演 発売初日の予約の取扱い】

※電話予約・インターネット予約のみの受付となります。

※窓口でのチケット引き取り・販売は翌開館日から承ります。

【ひこね市文化プラザ・みずほ文化センターでは、次の感染症対策を実施しています】▶館内設備の定期消毒 ▶手指消毒液の設置 ▶飛沫飛散防止カーテンの設置 ▶非接触型体温計の常備 ▶新型コロナウイルス感染拡大防止システム「もしサボ滋賀」の表示の設置

みずほ文化センター

1月14日(土) 14:00 多目的ホール

みずほ寄席vol.46「新春落語まつり」

<出演>笑福亭晃瓶、笑福亭恭瓶、笑福亭風喬、笑福亭呂翔

入谷和女(三味線)

小学生以上

託児あり(有料・要予約)

指定 【発売中】 一般 / 前売1,500円、当日1,800円
高校生以下 / 前売1,000円、当日1,200円

「ほっかほかラジオ」でお馴染みの笑福亭晃瓶さん出演の新春落語会です。初笑い、ぜひみずほ寄席で!



3月11日(土) 14:00 多目的ホール

石原詢子コンサート 2023～今あなたに届けたい～

指定 【発売中】

前売3,000円、当日3,500円

デビュー35周年・芸道生活50年を迎え、名実ともにますます充実した活動を続ける「石原詢子」の魅力あふれるコンサート。

小学生以上

託児あり(有料・要予約)



申込・お問い合わせ先

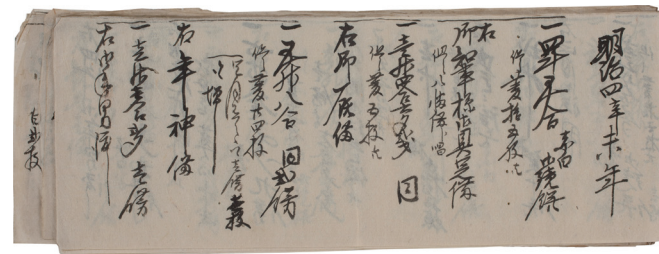
みずほ文化センター ☎43-8111 (9:00～17:00)

1月の休館日: 1日(日・祝)～3日(火)、10日(火)、17日(火)、24日(火)、31日(火)

◎表記の価格は全て税込価格です。

◎入場制限のある公演は、託児サービスを実施します。

子ども1人1,000円。各ホールまで事前予約が必要です。



▲御蒸物留帳(彦根藩井伊家文書)

彦根藩の御膳方という部署で作成された「御蒸物留帳」彦根藩井伊家文書という帳面に、正月に用意した鏡餅などの餅のことが記録されています。現存しているのは明治3年(1870)と同4年のもの。明治4年7月15日に廃藩置県が実施されたので、彦根藩最後の2年分にあたります。

明治4年の冒頭には「御知事様御具足備」として、紅白の鏡餅と菱餅15枚あわせて4斗5合(蒸した餅米の量)とあります。「御知事様」とは井伊家14代直憲のことです。明治2年に新政府の改革で直憲が彦根藩の改革で任命されたことを受けての呼称であり、それ以前なら藩主にあったところでした。

また、「御具足備」とは、正月飾りの一つである具足祝のなかの餅飾り部分のことを指しています。江戸時代以前、武家で正月に甲冑を飾り、あわせて餅飾りも供えていたのが具足祝です。その餅飾りが直憲の場合4斗5合ということですが、米俵1俵が4斗(約60kg)ですから相当な量です。

これは、飾っていた餅を正月11日に割って彦根藩士に分配していたので、それだけの量が必要だったということでしょう。

「御蒸物留帳」にはこの他にも正月の用意として、表御殿、馬屋、玄宮園の観世音、大洞弁財天の社堂など各所に供える餅が数多く記されています。また、奥女中に下賜される切餅や、直憲のお好みものとして熨斗餅など、食されるものも挙がっています。特殊な例ですが、直憲のお好みとして、彦根の菓子屋から砂糖入りのかき餅も調達していました。

ここまで明治4年のことを紹介してきましたが、同3年もほとんど同じ内容です。「御知事様」と書かれること以外に、あまり明治時代の新たな変化が感じられず、江戸時代から続いている祝いの形を、例年通りに継続している印象を受けます。別の史料に書かれていることですが、明治4年正月の松飾りについて担当部署が上役に伺ったときには、「これまで通り」との回答でした。

明治維新に伴い、政治・社会の面でさまざまな変革が起きている最中、それとは無縁であるかのように、正月飾りは「たんだんと」「例年通り」に続けていたと見られるのです。

【彦根城博物館学芸員 早川駿治】

写真の古文書は、テーマ展「彦根藩の年中行事」で1月1日(日・祝)～2月7日(火)の期間、展示します。

とまの玉手箱

博物館からのメッセージ